

作成: 芝崎

### 34. 親戚篇 : たった一人の甥の話

- (1) 彼が大学を無事卒業でき、就職先も決まったことで妹夫妻はとても喜んだ。お祝いの席で、彼の父は彼にお祝いの言葉として、「石の上にも3年」という言葉をもとに、3年間は会社辞めずに頑張ってほしいと伝えた。その主旨はこの 3年間はベースにして、その会社でサラリーマンとして基盤に作ってほしいと願いを込めた言葉であった。私はうまい言葉をかけたなあと感じた。
- (2) そして、3年後、彼から「3年間一生懸命働いた」と言って、その会社を辞めたので、妹夫妻はびっくりしたが、二人は「3年間は会社辞めずに」と言ったことは覚えていたので、何も言えなかったとか。あまりにも言葉通りに実行したので、一層驚いた。(彼はその会社の将来に不安を感じたらしいが)
- (3) それから10年以上経て、妹に次の会社で頑張っている？なんとなく気になって聞いてみたところ、妹は笑いながら、もう5社も転職したとの事、約3年に一度のペースで転職、私も思わず、つい、つられて笑ってしまった。

### 笑いのポイント(笑点)

石: 意志(いし)の強さを得て、父に言われた3年間

の: (の)ほほんとせず、

う: (う)わついた気持ちでなく、

え: (え)んえんと、仕事に取り組む

に: 逃(に)げもせず、仕事に立ち向かう

も: (も)う十分に仕事のノウハウを把握したのか

3年: 3年(さんねん)の約束を守って、退社、その後約3年程度で転職、彼には3年が一つの区切りかも。

➡ 彼は父の言葉に従って(真意は?)「有言実行」の意志を貫いた。仕事はプログラマーでノウハウを得たことで会社を辞めても、次の会社(ソフト関連:基本は同じ)に務めることができた。さらに何故か3年も守る意思も教訓をして得たようだった。彼には自分で考えた方向にこれからも自分の強い意志を持って貫徹してほしいと願っている。



以上